

今年はおレがロードスターの世界を面白くしたる!

ユーノス・ロードスターというのは、例えばスカイラインGT-Rのようにサーキットを速く走ることには心血を注ぐような、いわゆる「走らせるクルマ」ではないと思う。やっぱ「機能性・ファッション性」などのトータル・バランスを求める「雰囲気クルマ」。だから、僕たちとしては、ロードスターを「多くの人たちが気に入るように」どう作っていくか」が問題になるんや。

まあ、チューニングの度合いで言えば、ライトチューニングの範囲にとどめて、その使い方を表現してやらんとあかんと思う。クルマ全体の雰囲気では、ミニなんかに近いものを持っているとも言えるわな。

ロードスターは、発売されて今年で6年目に入るわけだから、今ちょうど転換期に来てるんちゃうかな。だから、ウチでもちよつとここで盛り上げてやらなあかんと思ってるよ。とこなんや。と言うのも、最近ではロードスターの精神である「人馬一体」の「人」の部分がちよつと消えかけているような気がするし……。

ウチとしては今年、ロードスターのフルエアロ化というのも考えている。これは、(6年目を迎えて)そろそろボディラインを大幅に変更してもいい頃かな、と思うからなんや。正直言っても、今後はちよつと奇抜なエアロパーツなんかもありかな、とも思っている。

ただ、ロードスターの場合、何をやってもしられるクルマだから、そこが返って難しいとも言えるわな。だから、自分でテーマを決めて、(パーツ作りなどを)やらんといかんという感じやね。まあ「お洒落さ」を意識して作るのも、おもしろいとも思うし。

また、走りの面では、峠を走るようなドリフト族にも受け入れられるようにならんとあかんとも思うわ。だから、ロードスターの「ドリフト大会」なんていうのができれば面白くなるんちゃうかな。やっぱ、ユーザーとして

やっぱり走り走って楽しまなアカン

は、ロードスターにそういったいろいろな「パワー」を求めている時期に来ていると思ってる。で、そうしたパワーを表現するには、引っぱりとして何かがあるわな。そこで、ウチではT1でやっているロードスターのレースに今年は、女性ドライバーを出場させることにしたんや。出場するのは、ウチの走行会によく来てくれている娘なんやけど、レースはまったくの初心者。でも、ロードスターだったら、こういったことも許されるんちゃうかな。

それと今年には、「ロードスターで走る楽しさ」をアピールしていきたい。そのためには、自分でもロードスターに乗って楽しむように心掛けたいと思ってる。

それと、トライアルとしての商品開発の面では、エアロパーツはもちろん、機能部品にも力を入れてやらなあかんと思ってる。さらに、そうだった。こだわりの商品、の他にも、今年はアクセサリー類などの「気楽な商品」も作ってみようかな、と思ってるよ。

でも、そうした商品開発のためには、やっぱりユーザーとの対話というのが大切なんや。ユーザーからの要望を十分に生かした商品作りをやる。ウチのこれまでの一番のヒット商品は、アディダス製のドライビングシューズなんやけど、これなんかは走行会だけでなく街中でも履けるように、底の部分を厚く作ってある。それと、かかとの部分がペダル操作をしやすいようにできているんや。こうしたいわゆるソフト面をカバーする商品開発にも力を入れていきたいと思ってる。

それと、トライアルとしては各分野での人材面の充実を図って、それを商品に生かしたいと考えているところや。

そして、7月には神戸に「トライアル神戸」がオープンする予定。こっちの店も、この大阪の店と一緒に、「走り」を店のメインに据えようと考えているんや。(談)



トライアルが開発した1.6L専用スポーツ・インジェクション。今年にこれに次ぐ商品のリリースにも期待

